



2020年4月23日

環境対応モデルの希望小売価格を値下げ

クリーン・ディーゼル・エンジン搭載モデル、プラグイン・ハイブリッド・モデル、電気自動車の更なる促進を目指す

ビー・エム・ダブリュー株式会社（代表取締役社長：クリスチャン・ヴィードマン）は、より環境に優しいモデルの販売促進のため、クリーン・ディーゼル・エンジン搭載モデル、プラグイン・ハイブリッド・モデル、および電気自動車の希望小売価格を、本年5月2日販売分より値下げする。

BMW グループは、「パーソナル・モビリティの分野において、最も持続可能性の高いプレミアム・プロバイダーである。」というスローガンを掲げ、環境問題に対して、モデル開発からエンジンの改良、個別モデルの細かい仕様変更に至るまで、様々な技術や柔軟な発想でグループ一丸となり、課題に取り組んでいる。

この度、日本国内においても、環境負荷低減をより一層加速させ、希望に満ちた輝ける未来のため、燃費効率が高くかつ人気の高い、クリーン・ディーゼル・エンジン搭載モデル、プラグイン・ハイブリッド・モデル、および、電気自動車から、厳選されたラインアップにおいて、新たに「Edition Joy+（エディション・ジョイプラス）」としてラインアップし、値下げを実施する。

なお、今回「Edition Joy+」がラインアップされるモデルについては、その標準モデルにおいて一部、装備の見直しを実施し、希望小売価格を変更する。

本件に関する読者および視聴者からのお問い合わせ先:

BMW カスタマー・インタラクション・センター

フリーダイヤル 0120-269-437

受付時間: 平日 9:00-19:00、土日祝 9:00-18:00

BMW ウェブサイト: <http://www.bmw.co.jp>